

# みどころいっぱい！ 但馬御火浦

【公共交通について】 ●平日のみ浜坂駅から三尾まで行くバスがあります(平成26年4月現在)。(問)全但バス株式会社 (0796)92-0137 ●浜坂駅前にタクシーがあります。

## ① 小三尾の石仏群



江戸時代、近くの寺にあった地蔵たちが雪崩や土石流によって流されました。ここにあるのは村人たちが浜や海中から見つけ出した48体です。大きな地蔵は又右衛門地蔵です。明治時代、村人たちが健康や病氣平癒を祈るために、又右衛門が建立しました。

## ② トンネルと三尾の風景



三尾地区の入り口に昭和27年に完成した旧三尾トンネルと昭和57年に完成した新三尾トンネルが並んでいます。このトンネルができるまでは三尾はいわば陸の孤島でした。トンネルを抜けると三尾大島が浮かぶ雄大な景観が眼前に広がります。

## ③ 三柱神社



小三尾の氏神社で、拝殿の天井に人、動物、花鳥の絵馬100枚と、弊殿通路には龍の絵馬があります。参道には不思議な模様をした流紋岩(火山岩)の鳥居跡が残されています。祭りには御輿、麒麟獅子舞が奉納されます。

## ④ 展望公園



ここからは小三尾や三尾大島付近の景色を一望できます。また、伝説や昔話を記した看板が立てられています。展望台正面の「スナヅ(表面地図参照)」には、日本海が開き始めた時に湖にたまったしまの地層と、それを切るマグマの通り道「岩脈」が見えます。

## ⑤ 影岩稲荷



漁業の神様として村人から信仰されてきた神社で、岩窟内に檜づくり神祠が建てられています。この岩は日本海が開き始める2000万年前ころ、火山活動によってできた凝灰岩(火山灰が固まった岩)です。ここには狐が豊漁を告げた伝説なども残されています。

## ⑥ 長崎鼻と恵比寿神社



三尾大島と同じ縦の割れ目模様(柱状節理)が美しい流紋岩の岩山です。波打ち際にはマグマの通り道「岩脈」があります。大島との間は「通り戸」と呼ばれ、大きな魚が釣れます。神社には蛭子命(ひるこのみこと)を祀り、漁業の守護神として村人の信仰を集めてきました。

## ⑦ 三尾大島と巖島神社



縦の割れ目模様(柱状節理)が美しい流紋岩の岩山です。かつては長崎鼻とつながっていたと考えられますが、波などによって間が削られ島になりました。島の奥には弁財天を祀った巖島神社があり、海の神、航海安全の神、運輸交通の神として信仰されています。

## ⑧ 八柱神社



大三尾の氏神社で、スサノノミコトが祀られています。平家ののぼりと同じ「赤いのぼり」が伝わっており、中段には五輪塔や宝篋印塔(ホウキョウイントウ)などが多数祀られています。祭りには御輿、麒麟獅子舞が奉納されます。

## ⑨ 不老の水



岩盤の割れ目から澄んだ水が湧き出ています。豊かな森がダムの役割をしているので、一年を通じて水が枯れません。周辺の岩は、日本海が開き始める2000万年前ころの火山活動で流れ出した溶岩などで、かつてここに大きな火山があった証拠です。

## ⑩ 展望台から見る鋸岬



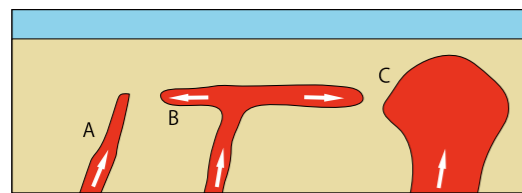
北に突き出た鋸岬は、地層に板状に入った硬い岩が削り残され、屏風のようなものです。この岩は、マグマがバリバリに割れながら地下の割れ目を通り固まってできました(火砕岩脈)。突き出た尾根が、鋸に似ていることからこの名がつけられました。岬の中央部には海食洞「旭洞門」があります。

## ジオコラム①

### マグマが地面に入り込んでできた？三尾大島と鋸岬の形の違い

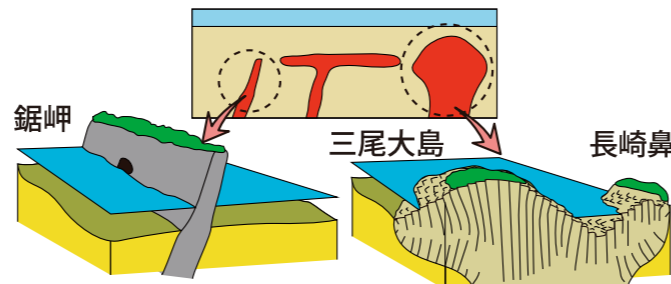
但馬御火浦を代表する景勝ポイント「鋸岬」と「三尾大島」。実は、このどちらもマグマが地中に入り込んで固まりました。でも、片や屏風のように立っていて細く長い岬で、片や饅頭みたいに真ん丸の島。何故これ程様子が違うのでしょうか？

これは、マグマの入り込み方の違いによって生じています。鋸岬は、地面の割れ目にそって縦にマグマが板状に上がってきました。一方、三尾大島は地面の中にドームみたいにマグマが押し込まれました。マグマが冷えて固まった火山岩は硬く、長い年月の中で周りのやわらかい地層が風雨や波で削られ、岬や島になりました。



マグマが地面に入り込む時の代表的な形(断面図)

- A. 地面の割れ目などに沿って縦にマグマが入り込む。→岩脈(がんみやく)
- B. 地層の面にほぼ平行にマグマが入り込む。→岩床(がんしょう)
- C. 地面の中にドーム状にマグマが入り込む。  
→潜在ドーム; 潜在円頂丘(せんざいドーム; せんざいえんちようきゅう)



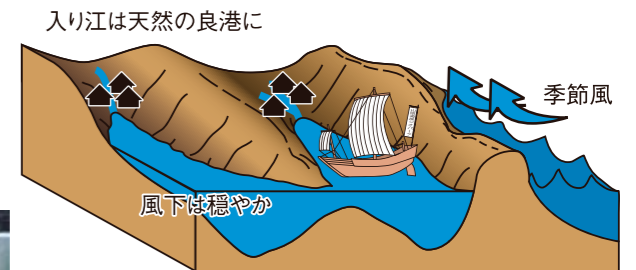
鋸岬は岩脈、三尾大島は潜在ドームと考えられる

※三尾大島の縦の割れ目模様はマグマが冷えて固まるときにマグマの冷却面と垂直方向にできる(柱状節理)

## ジオコラム②

### リアス海岸の入り江、三尾

リアス海岸の入り江は、風や波が入りにくく天然の良港になります。その奥の、川のあるなだらかな土地は、昔から人の生活の場として活用されてきました。



リアス海岸の海は岩肌が露出している場所が多く、そこに生える海藻の周りは貝や魚たちの住処となっています。周辺の森は豊富な栄養を海にもたらし、海の生き物を支えます。人々はこれら多くの恵みを利用しながら生活しています。

## クイズの答え

周辺に豊かな森があり、栄養がたくさん海に流れ込む。海がきれい太陽の光が十分降り注ぐ。岩場が多く根をはりやすい。などなど、ワカメの生育に良い条件がたくさんあります！